

「ディスカバー農山漁村の宝」 (第7回選定) グランプリ及び部門賞について

グランプリ

岐阜県立 岐阜農林高等学校 流通科学科 (岐阜県北方町)

きたがたちょう

コミュニティ部門

- ・ 地域農家にGAP認証のノウハウを公開するなどの支援を行い、農家のGAP認証取得に貢献。
- ・ オリパラのホストタウンとしてGAP食材を使ったおもてなしを企画。GAP認証活動面積は、2.5ha（平成29年度）から63ha（令和元年度）まで拡大。
- ・ GAP認証の柿によるパスタ開発、品質管理を徹底した新品種米の普及等を行い、岐阜県の農業の魅力発信に貢献。



準グランプリ

びほろ

北海道美幌高等学校 (北海道美幌町)

- ・ 特定外来生物ウチダザリガニ駆除活動を通じ、網走川流域の自然環境の改善や地域住民との交流会等により流域環境の保全活動を広く発信。
- ・ 水系での活動範囲は2km²（平成27年度）から60km²（令和元年度）に大幅に拡大。交流会等の参加人数も15人から500人に増加。



コミュニティ部門

準グランプリ

有限会社マルセンファーム (宮城県大崎市)

- ・ 栽培が難しい高糖度トマトを経営の柱とし、「極上デリシャス」として差別化。菊やホウレンソウとの複合経営で安定雇用を実現。
- ・ 令和元年東日本台風により全ての施設が浸水したが、約40人を継続雇用しながら復旧。これを機に首都圏スーパーに新規出荷。



ビジネス部門

準グランプリ

ほくえん

株式会社秋川牧園と飼料用米生産者グループ (山口県山口市)

- ・ 飼料用米の生産・活用により、耕作放棄地の解消や環境・景観の保全、地域資源を活用した循環型農業の実現に貢献。
- ・ 飼料用米の作付面積は、80ha（平成27年度）から121ha（令和元年度）に増加。令和元年度から飼料用米を食べさせた鶏卵の輸出を開始。



準グランプリ

ごつお

GOTTSO阿波 (徳島県阿波市)

- ・ 地元ブランド野菜を使った地元幼稚園・小学校での食育や、オリンピックでの納品を目指したグローバルGAPの取得を実施。
- ・ 地元ブランドナスの生産量は、48t（平成27年度）から150t（令和元年度）に増加。



個人賞

いしがき かずこ

石垣 一子 (秋田県大館市)

- ・ 農業体験や本場のきりたんぼづくり体験を核とした農泊等の受け入れ推進を図り、地域の活性化に努めている。
- ・ 外国人宿泊者の国籍は28カ国にも増え、世界的なひろがりが出てきている。



個人部門

グランプリ及び部門賞選定に係る有識者懇談会委員の主なコメント

グランプリ

岐阜県立岐阜農林高等学校 流通科学科（岐阜県北方町）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・高校生たちの地元食材を愛し、世界に知って欲しいという情熱に魅了される。影響力、波及効果も大きい。
- ・地域に根ざす高校が、校長を先頭に生徒128名が中心となってGAPに早くから取り組み、地域農業の発展に貢献。
- ・活動が斬新であり、実績もあり。

準グランプリ （コミュニティ部門）

びほろ

北海道美幌高等学校 （北海道美幌町）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・地域の巻き込みが素晴らしい。持続可能な取組を評価。
- ・生態系保全の視点がいい。
- ・ウチダザリガニによる環境への影響を調査・駆除するだけでなく、有効活用して食用や家畜飼料などへの応用を進めた。

準グランプリ （コミュニティ部門）

ぼくえん

株式会社秋川牧園と飼料用米 生産者グループ（山口県山口市）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・7次産業のインパクトは大きい。循環型の地域づくり発展の最先端の事例。
- ・長年地域で安心安全高品質な卵、牛乳などを生産してきた秋川牧園だからこそなした。故郷を守るのは飼料米という言葉は尊い。
- ・耕作面積の規模、飼料米の品質向上の努力は素晴らしい。

準グランプリ （ビジネス部門）

有限会社マルセンファーム （宮城県大崎市）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・大災害からの復活ストーリー。新技術導入で信頼感。
- ・災害から立ち上がり、新しい農業に挑む取組を応援したい。
- ・高糖度トマトやプレミアムトマトジュースにより地域農業をささえ、令和元年東日本台風で被災したが雇用を維持。

準グランプリ （ビジネス部門）

ごっつお

GOTTISO阿波 （徳島県阿波市）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・農家の力でまちを元気にしたいという農業後継者たちの思いを達成するために、ナスをブランド野菜として確立するなどの活動が素晴らしい。
- ・“おいしさ”を核にした活動とPRが垢抜けていて魅力的。若い人達の力で人を巻き込むパワーがある。
- ・連携力、連帯力が高く、勢いがある。

個人賞

石垣 一子 （秋田県大館市）

【有識者懇談会委員の主なコメント】

- ・郷土料理で活性化の好例。
- ・本場のきりたんぽを徹底的に売り出し、農家民宿に曲げわっぱのおひつを導入するなど、女性の視点が活かされている。
- ・全国で優秀賞を受賞。自ら海外にも出向き、外国人受け入れ実績ゼロの地域で、海外からの修学旅行を受け入れた行動力を評価。